

社会変革に向けた ICT 基盤強化
2021 年度採択研究者

| |
|------------------|
| 2021 年度 年次報告書 |
|------------------|

塩谷亮太

東京大学 大学院情報理工学系研究科
准教授

実用性と安全性を両立する秘密情報量に基づく情報漏洩防止基盤

§ 1. 研究成果の概要

2021年度は提案する各種のアイデアを実証するためのソフトウェア基盤の試作などを行った。また、それらを用いたいくつかの初期検討では良好な結果を得た。具体的には、情報量に基づく動的情報フロー追跡のプログラミング言語ランタイムへの実装と、ハードウェアにおけるバグや脆弱性を検出するための情報追跡を用いた検証システムの実装を行った。いずれの実装でも想定通りの良好な初期検討の結果を得ており、またさまざまな新しい知見を得ることが出来た。なお、開始からまだ半年程度と研究期間が短いため、当該年度は国際会議や論文誌等への採録の成果は出していない。国際会議への投稿は1件行ったが不採録であり、現在はその査読コメントより提案システムの評価内容を改善しているところである。また、国内ワークショップにおいては初期検討の結果について研究発表を1件行った。当該発表は初期検討ながら内容の評価され、若手研究賞を受賞した。